

JJCSSから見える短大生の姿

-短大生調査の概要と短大生の特徴-

日本教育社会学会 第61回大会

2009年9月12日 II-9部会 「学生生活」

○相原総一郎（大阪薫英女子短期大学）

○森 利枝（大学評価・学位授与機構）

山田 礼子（同志社大学）

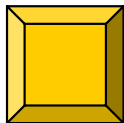


JJCSSから見える短大生の姿
—短大生調査の概要と短大生の特徴—

(1) 短大生調査の概要

発表の構成

1. JJCSS短大生調査の成り立ち
 - (1) CIRPとJCIRP
 - (2) 学習成果の間接指標としての学生調査
2. JJCSS2008の実施
3. JJCSS2008に見る短大生のI-E-O



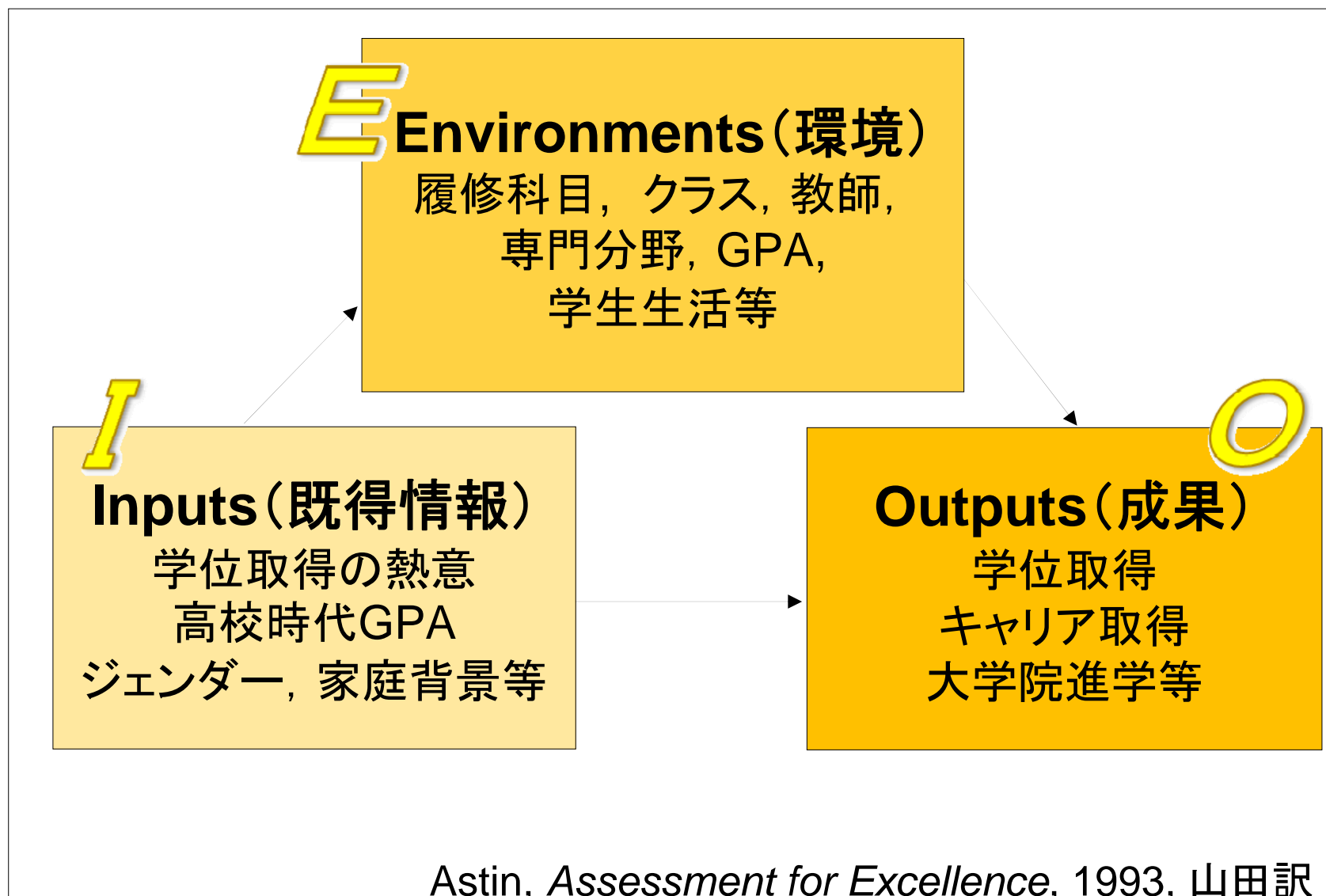
1. JJCSS短大生調査の成り立ち

(1) CIRPとJCIRP

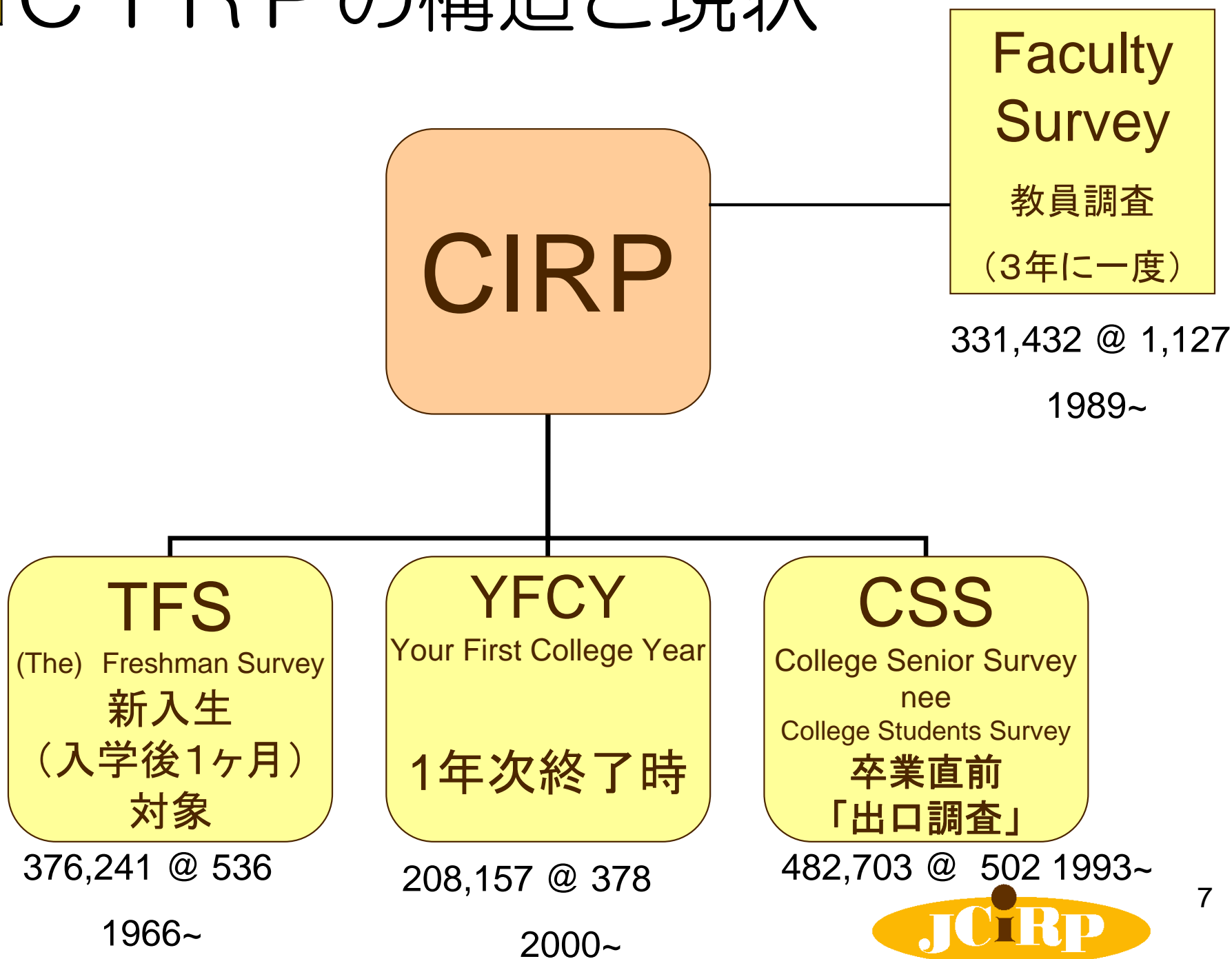
■ JJCSS : JCIRP短大生調査

- JCIRP (Japanese Cooperative Institutional Research Program) とは
 - 起源はアメリカのCIRP
 - CIRPは現在UCLAの高等教育研究所が主宰
 - 日本の学生の生活実態, 態度, 価値観を調査
 - 汎大学で実施中
 - OECD「高等教育調査レポート: 日本」(2009)でもJCIRPに言及

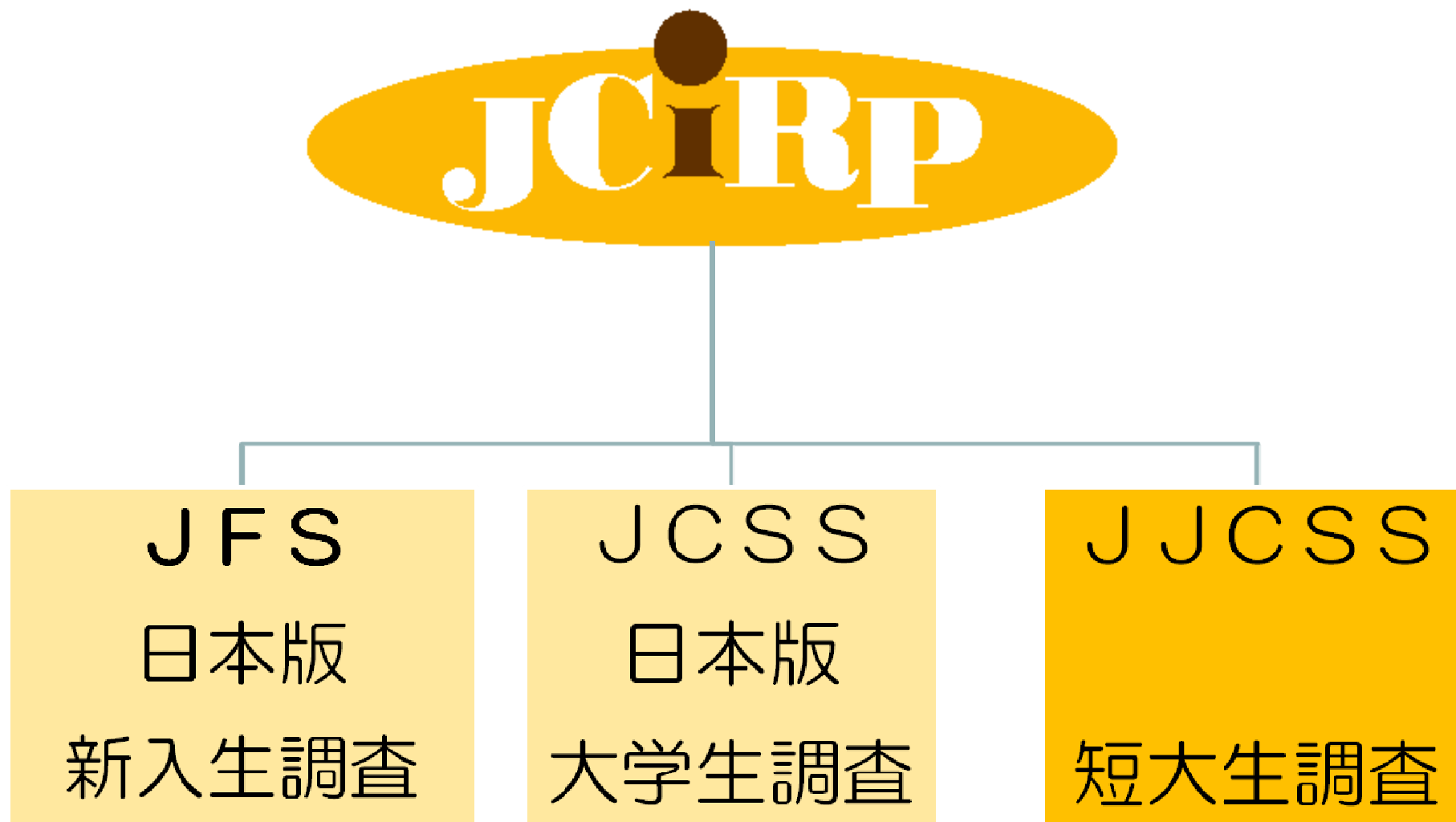
■ AstinのI-E-Oモデル



■ CIRPの構造と現状

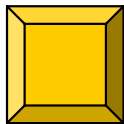


■ JCIRPの構造



■ 日米の学生生活・調査

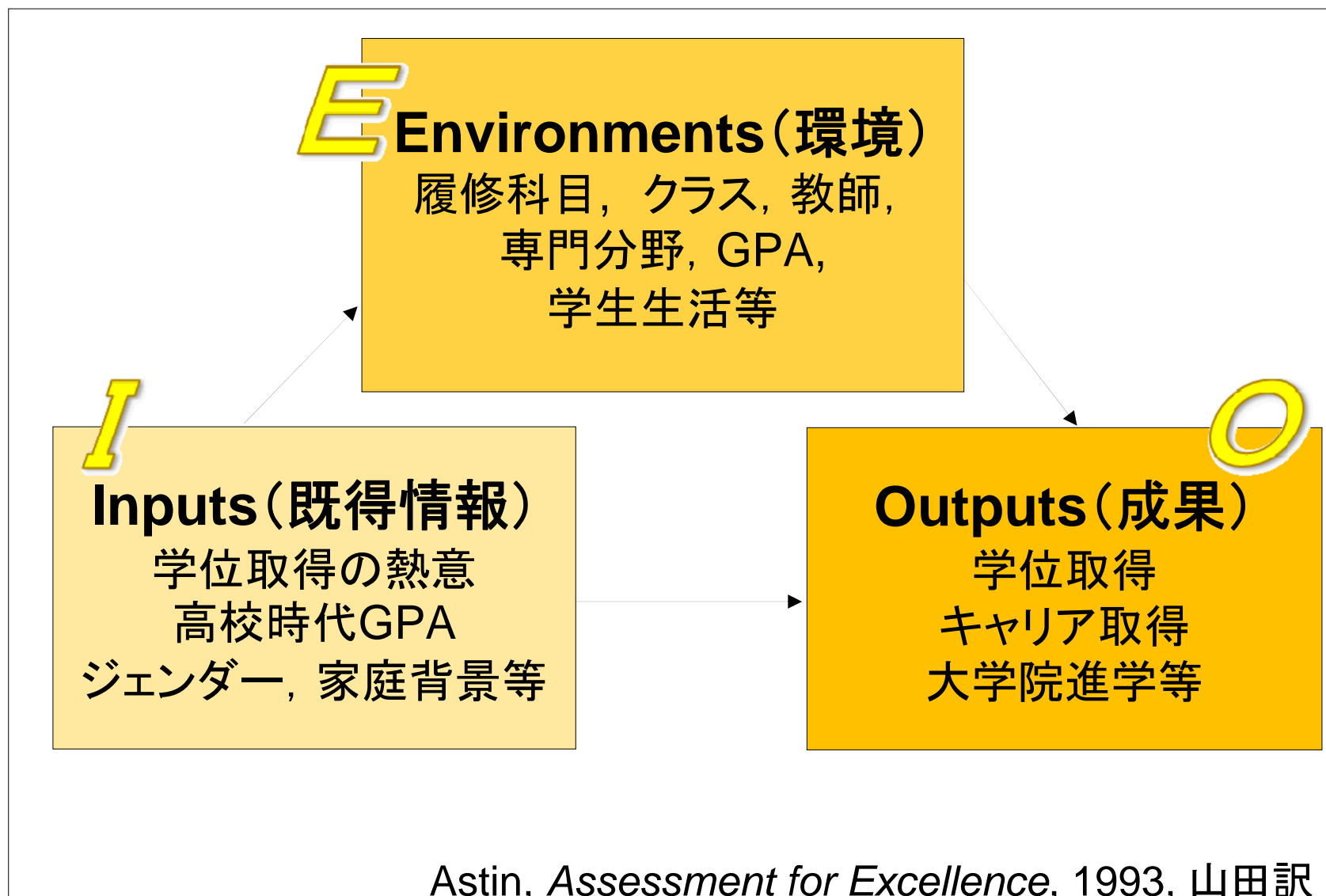
調査		対象	
		四年制	短期
U.S.	CIRP Cooperative Institutional Research Program	●	
	NSSE National Survey of Student Engagement	●	
	CCSSE Community College Survey of Student Engagement		●
日本	JCIRP Japanese Cooperative Institutional Research Program	●	●



1. JJCSS短大生調査の成り立ち

(2) 学習成果の間接指標としての学生調査

■ AstinのI-E-Oモデル



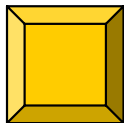
■ 学習成果の指標としても

- アメリカにおける「アクレディテーション」と「学習成果」に関する議論
 - ブッシュ政権下で「比較可能な学習成果の提示をアクレディテーション基準に盛り込むこと」が議論される
 - 直接的指標：学力テスト（CLA, MAPP等）
 - 間接的指標：学生調査

■ NEASCによる間接的指標の例

- 同窓生・雇用者調査
- 機関別・全国規模の学生調査
- 卒業直前面談
- 学生のインターンシップや留学などへの参加率
- 卒業生追跡調査
- 大学院進学率
- 大学院入学試験合格率
- 専門分野での学生の競争力
- リテンション，編入，就職率

NEASC, *Self Study Guide*, 2008



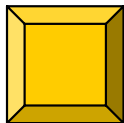
2. JJCSS2008の実施

JJCSS2008調査の実施

- 短大基準協会研究部＋JCIRP研究チーム
- 短大生の生活，態度，価値観に関する質問紙調査
- 選択式，34問，214アイテム
- 拡大版の調査の実施をにらんだパイロット調査
- 9短大の学生を対象
- 2008年11月～12月に実施

調査概要

- 9短大
 - 7校：二年制短大
 - 2校：二年制・三年制併設の短大
- 調査票配布数：2,496件
- 回収数：1,991件（回収率79.8%）
 - 女子：98%（全国平均89.1%）
 - 1年生：37%
 - 2年生：57%
 - 3年生以上：6%
 - 留学生：1%



3. JJCSS2008に見る短大生のI-E-O

■ 1部の分析の焦点

- AstinのI-E-Oモデルに沿って，入学前，在学中，卒業後の状況それぞれに注目
- JJCSSで何がわかるのか：主に専攻分野別で集計
- 短大の目的「深く専門の学芸を教授研究し，職業または实际生活に必要な能力を育成すること」：学業と職業に焦点

■ 専攻分野（回答者の選択による）

	度数	(%)
文学	60	3.0
心理学	38	1.9
経済学	61	3.1
社会科学	40	2.0
看護・保健衛生	207	10.4
家政学	518	26.0
教育学・教員養成	509	25.6
芸術	250	12.6
情報科学	57	2.9
その他	120	6.0
無回答	115	5.8
合計	1991	100.0

■進学理由：選択肢（重要度4件法択一）

1. 親の希望だった
2. 親以外の親族・親せきから進学を勧められた
3. 高校の先生に勧められた
4. 予備校や塾で勧められた
5. 本学の学術レベルに対する評価がとても高い
6. 本学の社会活動に対する評価がとても高い
7. 奨学金が支給された
8. 学費が適当であった
9. 自宅から通学できる
10. 就職に有利だから
11. すぐに働きたくなかった
12. 短大で学ぶ内容に興味があった
13. 学生生活を楽しんでみたかった
14. 本学の宗教的校風に魅力があった
15. 資格をとるために必要だった
16. より高い学歴のために必要だった
17. 推せん入試等で入学が早く内定した

■進学理由としての重要性(%)

	資格 取得	学習に 興味	自宅 通学可	学生生活 生エシ 生エシ 生エシ	推薦 入試	奨学金 支給
まったく重要でない	13.2	6.6	19.0	9.2	24.0	53.8
あまり重要でない	12.9	12.9	12.4	14.4	15.1	22.9
ある程度重要	24.7	37.2	30.2	39.8	29.1	13.0
とても重要	46.6	41.3	35.8	33.6	29.9	7.3
無回答	2.6	2.0	2.6	3.0	1.9	2.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

■進学の理由：資格取得(%)

	まったく重要でない	あまり重要でない	ある程度重要	とても重要	(n)
文学	25.4	25.4	28.8	20.3	59
心理学	16.2	16.2	29.7	37.8	37
経済学	20.3	25.4	33.9	20.3	59
社会科学	7.7	2.6	17.9	71.8	39
看護・保健衛生	4.0	5.0	20.6	70.4	199
家政	14.6	15.6	33.2	36.5	512
教育学・教員養成	2.0	3.2	16.1	78.7	497
芸術	42.9	25.0	24.2	7.9	240
情報科学	14.5	16.4	45.5	23.6	55
その他	12.0	17.1	28.2	42.7	117
合計	14.0	12.8	25.5	47.7	1,814

■進学の理由：学習に興味(%)

	まったく重要でない	あまり重要でない	ある程度重要	とても重要	(n)
文学	11.7	18.3	30.0	40.0	60
心理学	7.9	10.5	50.0	31.6	38
経済学	11.9	13.6	47.5	27.1	59
社会科学	5.3	15.8	44.7	34.2	38
看護・保健衛生	9.9	20.2	38.9	31.0	203
家政	5.7	10.7	37.9	45.8	507
教育学・教員養成	4.6	11.0	38.1	46.4	483
芸術	4.9	14.0	32.5	48.6	247
情報科学	8.9	17.9	44.6	28.6	56
その他	12.7	15.3	39.0	33.1	118
合計	6.8	13.2	38.1	41.9	1,805

■進学の理由：学生生活enjoy(%)

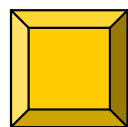
	まったく重要でない	あまり重要でない	ある程度重要	とても重要	(n)
文学	8.3	13.3	45.0	33.3	60
心理学	7.9	2.6	65.8	23.7	38
経済学	14.0	17.5	35.1	33.3	57
社会科学	2.6	7.9	52.6	36.8	38
看護・保健衛生	8.9	17.8	41.6	31.7	202
家政	9.8	14.9	39.9	35.4	511
教育学・教員養成	6.8	14.7	42.2	36.3	498
芸術	12.0	16.2	35.9	35.9	234
情報科学	14.3	12.5	37.5	35.7	56
その他	12.0	17.9	38.5	31.6	117
合計	9.3	15.1	40.9	34.7	1,811

■進学の理由：奨学金(%) (受給者のみ)

	まったく 重要でない	あまり 重要でない	ある程度 重要	とても 重要	(n)
学生支援機構 奨学金	23.9	23.5	28.2	23.1	466
地方自治体 奨学金	52.0	24.0	16.0	8.0	25
民間団体 奨学金	41.7	25.0	25.0	0.0	11
短大奨学金 授業料免除	13.9	24.6	32.8	27.0	120
その他	34.7	36.7	10.2	12.2	46
合計	24.3	24.7	27.2	22.0	668

■ 1週あたり学習時間(%)

	0時間	1時間未満	1-2時間	3-5時間	6-10時間	11-15時間	16-20時間	20時間-	(n)
文学	3.3	33.3	25.0	21.7	8.3	1.7	3.3	3.3	60
心理学	5.3	23.7	21.1	39.5	2.6	5.3	0.0	2.6	38
経済学	27.1	42.4	13.6	11.9	1.7	3.4	0.0	0.0	59
社会科学	7.5	37.5	12.5	20.0	15.0	5.0	0.0	2.5	40
看護・保健衛生	3.9	18.0	25.4	24.9	11.7	5.9	2.9	7.3	205
家政	10.1	28.3	28.7	17.7	9.0	1.9	1.0	3.3	513
教育学・教員養成	9.9	29.2	25.6	20.2	6.9	3.6	2.0	2.6	504
芸術	12.3	18.9	16.0	16.5	11.1	4.9	5.3	14.8	243
情報科学	14.3	16.1	30.4	25.0	7.1	3.6	1.8	1.8	56
その他	12.1	31.0	25.0	22.4	5.2	3.4	0.0	0.9	116
合計	10.1	26.8	24.6	20.2	8.7	3.9	2.4	5.2	1,834



志望職業・キャリア（選択肢：択一）

1. 建築士や都市設計士
2. エンジニア
3. プログラマー
4. 歯科医
5. 医師
6. 獣医
7. 薬剤師
8. 看護師
9. 医療技師や衛生士
10. 理学療法士や作業療法士、言語聴覚士
11. 栄養士
12. 社会福祉士や介護福祉
13. ホームヘルパー
14. 保育士
15. 弁護士や裁判官
16. 会計士や税理士
17. 幼稚園の教員
18. 小学校の教員
19. 中学校や高校の教員
20. 大学や短大の教員
21. その他学校の教員
22. 学校外の各種の教育職
23. 学校や大学の職員
24. 学校長や学校経営者
25. 学校のカウンセラー
26. 臨床心理士
27. 聖職者（僧侶など）
28. 芸術家
29. インテリアデザイナー
30. 作家やジャーナリスト
31. 演奏家や作曲家
32. 俳優や演出家
33. 国や地方自治体の議員
34. 国家公務員
35. 地方公務員
36. 自衛隊員
37. 警察官
38. 消防士
39. パイロットや客室乗務員
40. 海外勤務者
41. ベンチャービジネス（起業家）
42. 科学研究者
43. 旅行や観光業の仕事
44. 新聞や放送関係の仕事
45. インターネット関係の仕事
46. 企業や団体の事務職
47. 企業や団体の経営者
48. 小売店の自営業者
49. 販売員や卸売業者
50. 農林水産業の従事者
51. 製造業の技能工
52. 専業主婦
53. フリーター
54. その他
55. まだ決めていない

志望職業未定率と未定率の不変率

	学年	人数	志望職業未定		不変率 (%)
			度数	(%)	
文学	1	23	8	34.8	55.9
	2	36	7	19.4	
心理学	1	23	8	34.8	41.1
	2	14	2	14.3	
経済学	1	25	5	20.0	27.8
	2	36	2	5.6	
社会科学	1	3	0	0.0	-
	2	36	1	2.8	
看護・保健衛生	1	84	4	4.8	55.8
	2	10	0	0.0	
	3	113	3	2.7	
家政	1	270	35	13.0	96.8
	2	247	31	12.6	
教育学・教員養成	1	99	5	5.1	34.0
	2	408	7	1.7	
芸術	1	37	7	18.9	82.7
	2	211	33	15.6	
情報科学	1	39	15	38.5	72.2
	2	18	5	27.8	
その他	1	65	19	29.2	34.9
	2	49	5	10.2	
合計	初年次	692	92	14.8	55.5
	最終年次	1168	96	8.2	

■ 典型的な職業の志望傾向

- 「看護・保健衛生」：「医療技師や衛生士」志望
 - 1年生に53人（63.1%）
 - 3年生に89人（78.8%） **up**
- 「家政」：「栄養士」志望（栄養学専攻とその他が未分化）
 - 1年生で112人（41.5%）
 - 2年生で79人（32.0%） **down**
- 「教育学・教員養成」：「保育士」志望
 - 1年生で51人（51.5%）
 - 2年生で261人（64.0%） **up**
- 「教育学・教員養成」：「幼稚園教諭」志望
 - 1年生で27人（27.3%）
 - 2年生で78人（19.1%） **down**

* 同一コーホートの経年変化ではない。

■ 1部まとめ

- パイロット調査としてのJJCSS2008
 - 調査項目リファインの要→すでにJJCSS2009に反映
 - 全体的な分析→日本の短大生のプロフィール
 - 個別短大での分析→学生募集・学習環境の整備・学生指導・進学／就職指導に利用
- 継続調査→同一コーホートの経年変化→短大のインパクトの指標に
 - 四年制CIRPでは最大3種類の調査
 - 同一質問を2回3回？ ←JACAとの協力体制